

花王 和歌山工場 自転車を活用した従業員の健康づくり



設 立

1942年（昭和17年）
操業 1944年（昭和19年）

敷 地 面 積

53万㎡

従 業 員 数

約1,900名

生 産 量

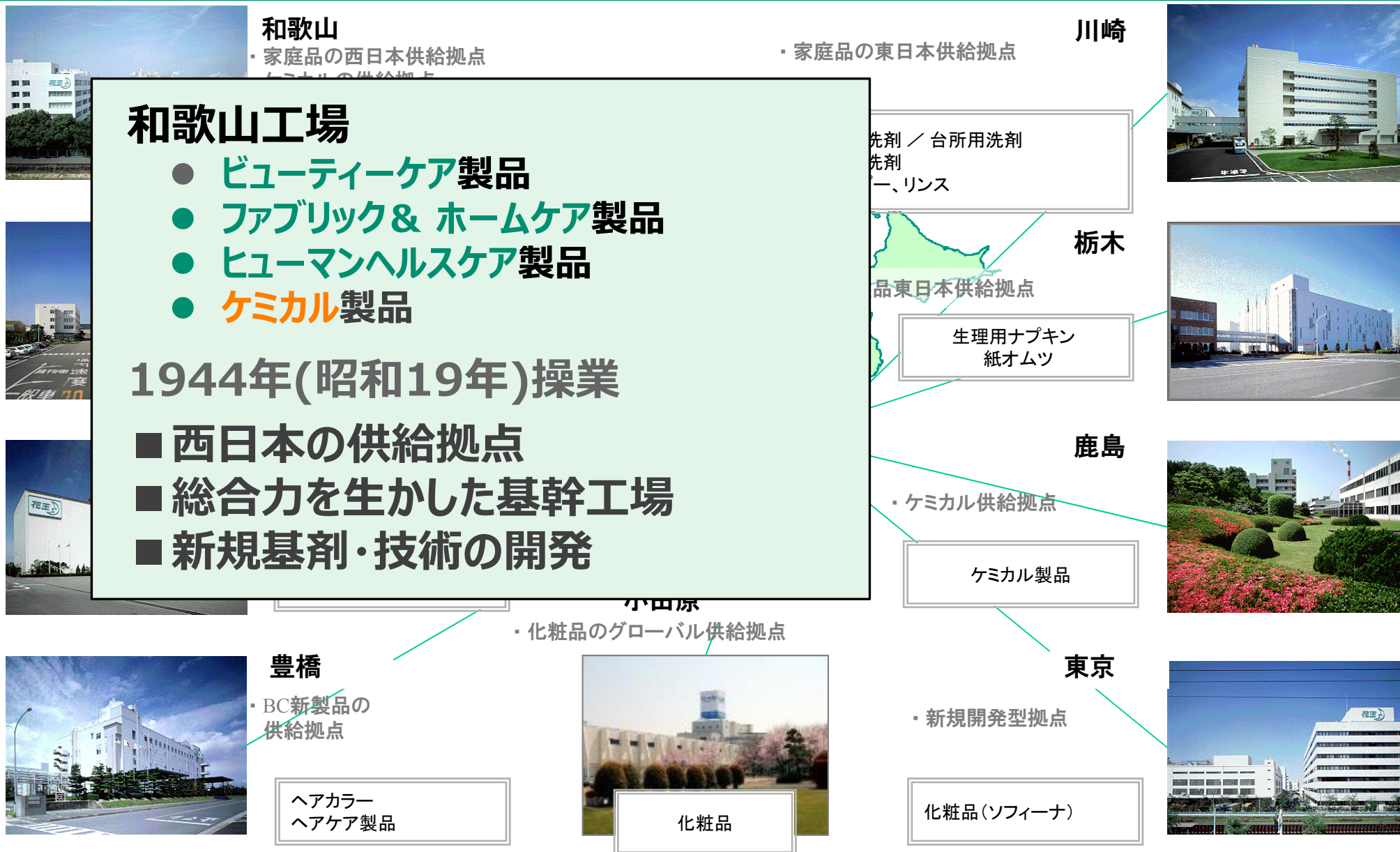
約800千トン／年

主 な 生 産 品 目

ファブリック&ホームケア製品／ビューティーケア製品
ケミカル製品（油脂製品／機能材料製品／スペシャルティケミカルズ製品）

花王グループの生産拠点（日本）

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして



和歌山工場の主要製品



ファブリック&ホームケア製品



衣料用洗剤/柔軟仕上剤/衣料用漂白剤/洗濯用のり剤



台所用洗剤/台所用漂白剤/消臭芳香剤



住居用洗剤 住居用漂白剤



掃除用紙製品

ビューティケア製品 ヒューマンヘルスケア製品



石鹸/洗顔料/全身洗浄料



シャンプー/リンス/トリートメント(洗髪剤)



ヘアカラー/スタイリング剤 男性化粧品
ヘアマニキュア/育毛剤

歯磨き/歯ブラシ/入浴剤

工業用化学製品



ハードディスク研磨剤



高級アルコール



マイテイ®



香料



カラートナー

和歌山工場の概要

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして

KaO



防潮林

経営トップからのメッセージ

【要約】

「健康」は個人生活の基盤ばかりでなく社会の財産

社員の健康は自分にも家族にも、

そして会社にもかけがえの無い財産

健康は社会にとっても共通の財産

健康づくりの主体はあなた

1人だけでは限度もあり、会社としても積極的に支援

気付きを促し、アドバイスし、応援する

職場を通して推進し、産業保健スタッフはその支援

健康経営を標榜する企業の一員として

自分、家族、同僚、メンバーの心身の健康に関心をもち

明るく、楽しく、元気よく「健康づくり」の実践を

花王グループ健康宣言

Top Message
トップメッセージ

この度、花王グループの皆さんに
「花王グループ健康宣言」を
お届けすることになりました。
巻頭にあたり「健康」に対しての
私の思いをお伝えします。



2013年4月
花王株式会社
代表取締役社長執行役員
澤田 道隆

「健康」は個人生活の基盤ばかりでなく社会の財産

公私ともに充実した日々を過ごすベースとなるのは「健康」です。あなたが健康でいることは、ご自分のためであり、家族のためでもあります。そして会社にとってあなたの健康はかけがえのない財産です。また、家族の健康は、安心して仕事に励むための支えとなります。健康な社員と家族があって、はじめて会社の発展があることを考えると、「健康」は社会にとって共通の財産と言えます。



2008年発行

グループ会社全社員に配布

健康経営 4年連続選定

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして

KaO

化学

4452



自然と調和する 心豊かな毎日をめざして



花王株式会社

2008年からの取り組みで蓄積したノウハウで健康経営を深化。
社員だけでなく家族全体の健康維持を目指し、新たな健康プロジェクトを始動

2008年の「花王健康宣言」発表以後、PDCAサイクルで健康経営を進める花王株式会社では、自ら健康を維持増進する「ヘルシイライフの高い社員」となることを目指しています。会社、健保組合、産業保健スタッフ、外部専門家による協力体制を構築することで、組織的な健康経営に取り組み、2008～14年度と比較では、長期休業者数32%減、一人あたりの休業日数20日減少など、環境整備とともに実績とノウハウを着実に積み上げています。

2017年度にスタートしたグループ中期経営計画「K20」では「社員と家族の健康維持(GENKIプロジェクト)」を掲げ、新たなプロジェクトを始動。生活習慣病、メンタルヘルス、禁煙、がん、女性の健康を取り組みの柱とし、ポピュレーションアプローチと個別アプローチを組み合わせ、健康経営の深化を推進しています。



生活習慣病対策で内臓脂肪チェック

花王株式会社の健康経営 4つの側面から



経営理念・方針
組織体制
制度・協賛実行
評価・改善

- 1 新たな中期経営計画で「社員と家族の健康維持」を明記**

2017年度の統合レポートにおいて「全ステークホルダーへの還元の中で、社員に対しては継続的な知識教育、家族を含めた健康サポートを行ない、顧客に対してはWin-Winの最大化を図っていく」と記載。次なる成長のために、**社員と家族の健康維持(GENKIプロジェクト)**を含んだ「K20」プロジェクトを推進する旨を公開している。
- 2 施策立案から効果検証までを全社的な連携で取り込む**

月1回の定例ミーティングで、会社と健保組合が一体となり、各施策を議論の上で立案。主要施策についてはワーキンググループでの議論も行う。人材開発部門、健康経営推進部による施策マネジメントのもと、健康基礎情報系は健保組合として取りまとめ、男女、年代、部門等の数値が経年変化アンケートの意見を分析し、各施策の効果の有無を比較検討することで、さらなる改善を図っている。
- 3 仕組みの見直しによって課題解決に挑戦**

 - 生活習慣病対策
糖尿病とメタボリックシンドロームにおいて、独自の判定基準を設けて高リスク者に対する定量的診断機会と生活習慣改善指導を実施。生活習慣病にならない対策として、健診前の「ヘルシアウォーキングチャレンジ」や、よりやすいお正月明けに「42日間減量チャレンジ」などを実施し、生活習慣を改善。メタボリックシンドローム発生を防ぐ活動も推進。内臓脂肪測定器を活用し、内臓脂肪蓄積に着目した生活習慣分析と運動支援を行っている。
 - 禁煙対策
以前より対策を行っていたが、喫煙率が下り停滞状態であったことから、「花王グループ 禁煙への取り組み方針」を策定し、2018年度より就業時間内禁煙と受動喫煙対策を実施する。事業場責任者からのメッセージの発信や、禁煙動画を全社に配信。
 - メンタルヘルス対策
ストレスチェック結果で得た高い社員全員に対し、**自費による各種検診を無料クリニックからのフォローメールを実施**。健康分析に基づく職場課題に取り組み、職場活性化を目指す。
- 4 長年の取り組みが成果を発揮。地域コミュニティからの評価も顕在化**

社員と家族の健康維持(GENKIプロジェクト)活動に、延べ1万3,000人が参加。健康キャンペーン参加者の3割が減量成功。延べ1万「スマート和食の会」を実施する社員5割。歩行計「ももタッチ」を活用してアクティブに歩く社員4割など、活動に広がりを見せている。また、社内で成果を挙げた内臓脂肪蓄積に着目した生活習慣分析および今年前半の改善施策プログラムを、自治体などの連携を通じて社外にも発表。実施した地域で高い評価を得ており、企業価値向上にも寄与している。



2018
健康経営銘柄
Health and Productivity




⊕画像の拡大

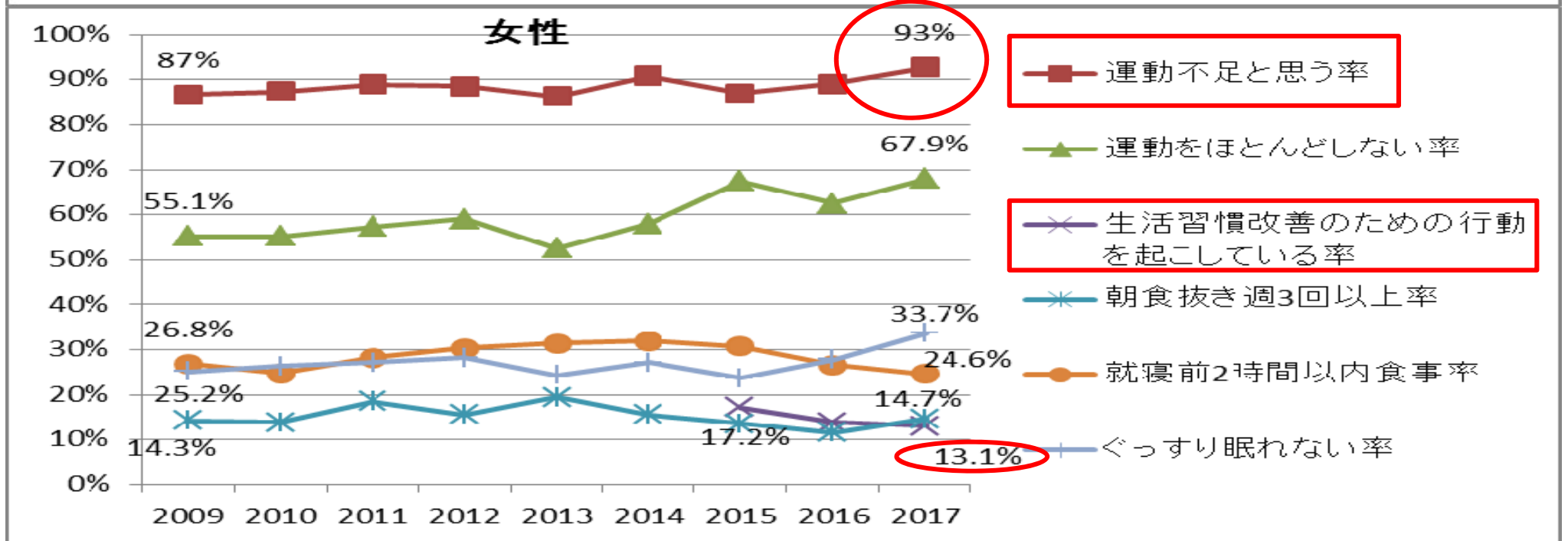
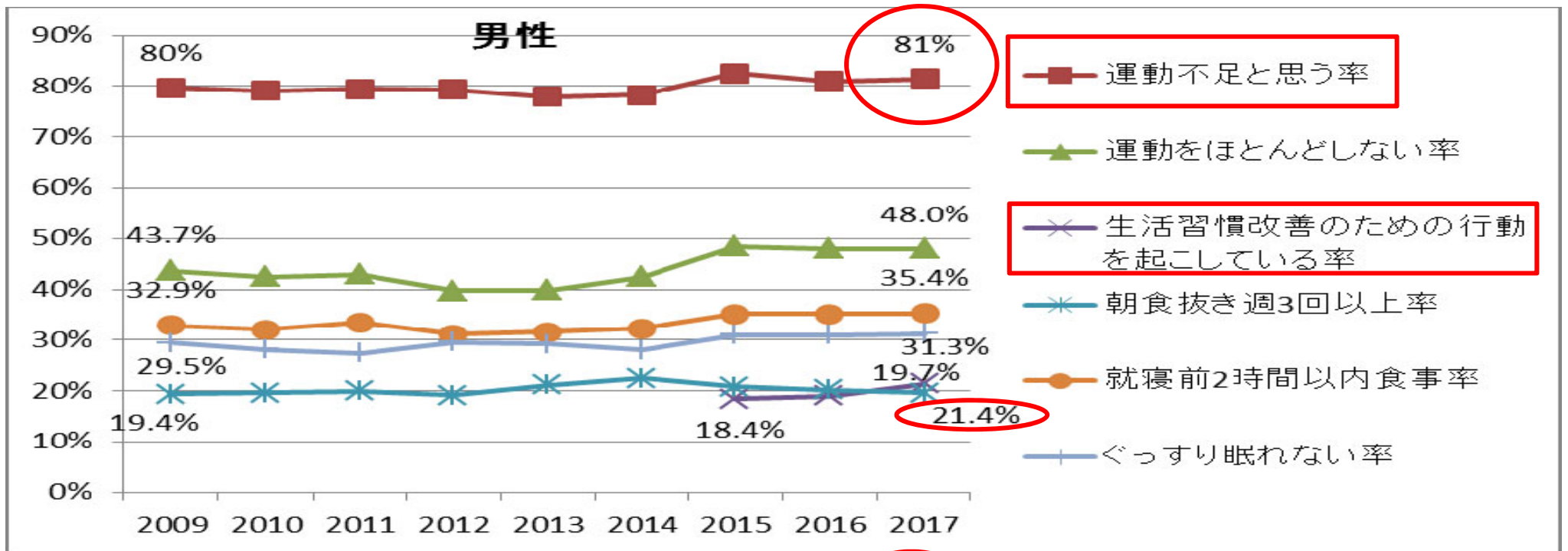
健康経営銘柄2018の発表会の様子

26社のうち10社が3年連続、うち6社が4年連続で選ばれた。4年連続で選定されたのは、**花王、フェル王、TOTO、大和証券グループ本社、東京急行電鉄、SCSK**である。

6







2017年度 健康づくりイベント等 年間まとめ

1月	2月	3月	4月	5月	6月
<p>※イベント名に下線があるものはクピオポイント付与イベント</p>	<p>◆禁煙講話～2018年就業時間内禁煙～</p>  <p>◆入社3年目面談：85名</p>	<p>◆<u>健診前ウォーキング</u>カンパ[○]ン</p>  <p>◆職場毎々ハハルスクア研修</p>	<p>◆新入社員研修</p> <p>◆2016年度特定保健指導最終面談</p>	<p>◆メンタルヘルスマネジメント研修(ハハルスクア[○]ス)</p> <p>◆定期健診</p> <p>◆<u>歯科健診</u></p> <p>◆花王グループ禁煙週間</p>	<p>◆<u>肺年齢測定 & 運動会で家族に向けた禁煙相談会</u></p>  <p>◆<u>塩分摂取量測定会</u></p>
7月	8月	9月	10月	11月	12月
<p>◆メンタルヘルスマネジメント研修(ハハルスクア[○]ス)</p>  <p>◆メンタルラインケア研修</p>	<p>◆ストレスチェック</p> <p>◆GENKIプロジェクト：ホコタチ導入</p>	<p>◆特定保健指導 9-10月</p> <p>◆自転車通勤でマインドスイッチ</p>	<p>◆健康講話（よりよい睡眠を手に入れよう～知れば得する役に立つ～）</p> <p>◆世界遺産保全ボランティアでの健康ウォーキング</p>	<p>◆体力測定・ボディスケン</p>  <p>◆サイクリングイベント</p> 	<p>◆年間を通じて「<u>出前健康教室</u>」</p> <p>◆入社1年目面談：89名</p>





2015年11月時点での通勤種類別割合

通勤種別	割合	
車	47%	
バイク	13%	
公共交通機関	5%	
自転車	25%	
徒歩	4%	
健康づくり通勤	6%	

6割



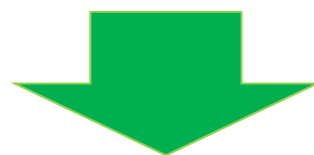
自転車通勤



マイカー & バイク通勤

- 天気の悪い日は車で通勤したい
- 出張に行く日などの荷物の多い日は自転車は厳しい

- 天気の良い日は自転車通勤したい
- 荷物の多い日は車がいい



2つの通勤スタイルを兼ね合わせた通勤方法

健康づくり通勤



自転車健康通勤プログラム

和歌山工場
地区SC 健康相談室

【目的】

2015年和歌山事業場男性の「運動をほとんどしない人の率」48.2% 男女ともに「運動不足と思う人の率」80%以上と、運動不足を自覚している方が多い。今回のプログラムで通勤を自転車に変えることにより、運動不足の解消、健康状態の改善、気分の変化による生産性向上への効果等を前後の測定・アンケートによって検証する。

本プログラムの取組を機会に、自転車通勤者率が増えていく波及効果を期待。

★株式会社シマノ、町のじてんしゃ修理屋さん、紀の川エリア観光サイクリングクラブ 推進協議会、紀の川サイクリングクラブの協力を得て実施

【参加者】

第1期：20人 第2期：20人

【実施内容】

事前説明会（スポーツバイク・ヘルメットフィッティング）、自転車通勤前後の測定・アンケートの実施、安全講習会、メンテナンス講習会、キックオフ説明会、紀の川サイクリング（20km、40km）メール週3回送信 等で参加者の3ヶ月間の自転車通勤を支援

【結果】

- ・血液性情（特に肝機能）、脚筋力の改善
- ・労働生産性が改善した人の向上幅が大きくみられた
- ・自転車通勤の実施日、非実施日で気分状態の違い（出社前後及び帰社前後の活性度の改善）がみられた
- ・自転車購入率7割以上。自転車通勤の継続や土日にサイクリングするなど身体活動の向上につながった。

説明会



サイクリングイベント



自転車のフィッティング



メンテナンス講習会



●● 自転車通勤でマインドスイッチ

目的：通勤に自転車を活用することは、健康・体力の向上だけではなく、気分や気持ちの切り替えに効果的。ワークショップで、自転車のメンタルフィットネスへの効果や自転車通勤に必要な知識を学び、日々の気持ちの切り替えやストレスの解消につなげる。

日時：2018年3月17日(土) 9:00-15:00

場所：健康相談室

講師：株式会社シマノ バイシクルコンポーネンツ事業部 企画部 文化推進室

阿部 竜士様

対象：自転車通勤に関心のある方、メンタル改善に関心のある方、働き方を変えたい方

参加人数：5名



ワークショップ



雑賀崎への走行体験



桜&桃お花見サイクリング



目的：サイクリングイベントで運動の機会を提供すること。そして、サイクリングの楽しさや爽快感を実感することで、日常生活で「自転車」を活用する人や自転車通勤・健康づくり通勤者を増やし、運動不足感を改善させる。

日時：2018年4月7日(土) 9:30-15:30

経路：打田わかもの広場→竹房橋→百合山まつり（振舞い）→竜門川（桜）→西笠田駅→龍之渡井（世界灌漑遺産）→青洲の里で小休憩→名手本陣→藤崎井→粉河わかもの広場せせらぎ公園（昼食12：00前後）→パラライダー前→桃源郷→打田わかもの広場

委託業者：紀の川サイクリングクラブ

対象：和歌山事業場社員とその家族

参加人数：35名（家族参加なし）



サイクリング



集合写真

自転車通勤への障壁① 道路事情

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして

KAO



3 km以内は
車通勤禁止

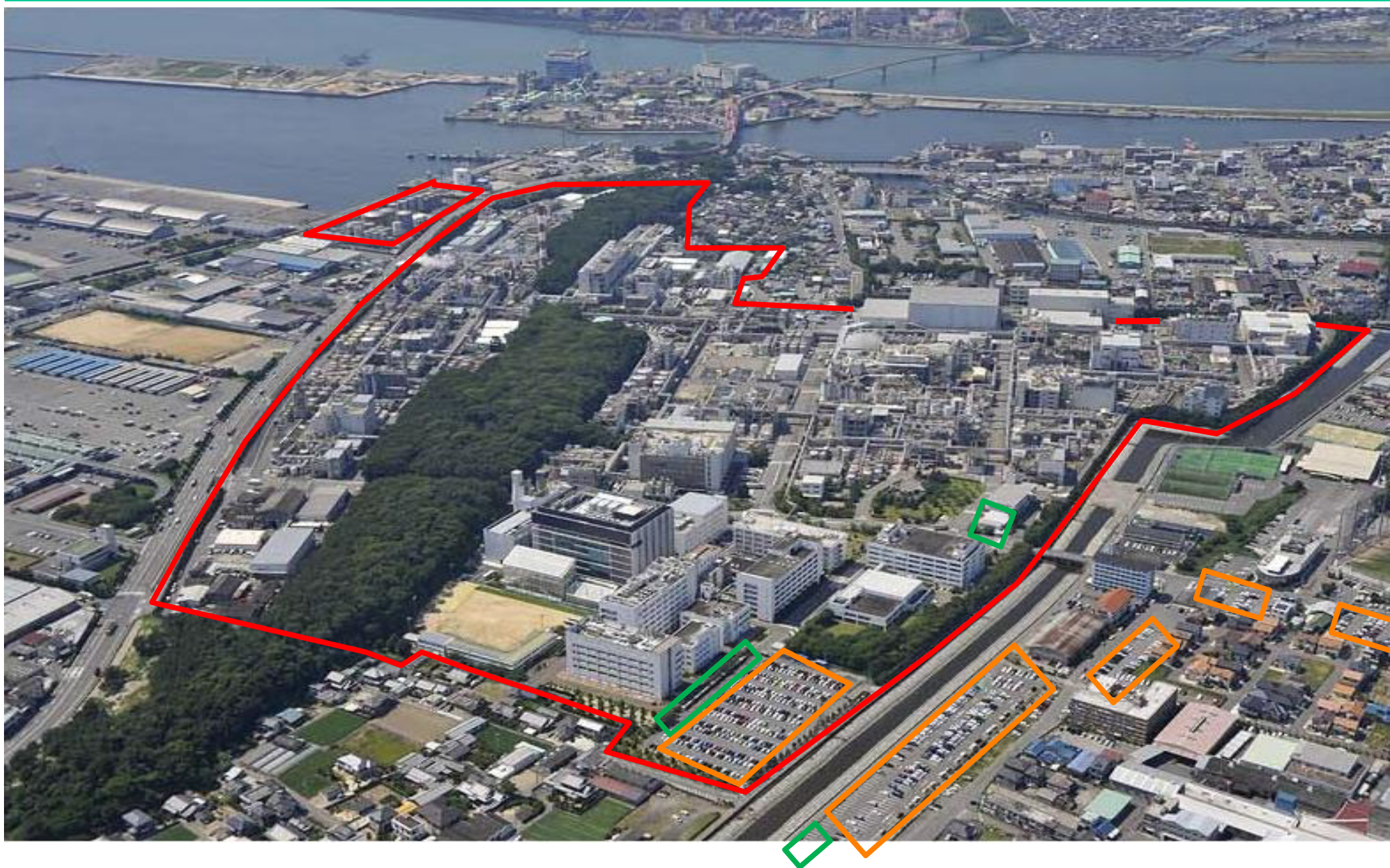
特に工場周辺の道は、通勤するには危険！

「自転車通勤はしたいが道が・・・」

自転車通勤への障壁② 駐輪場

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして

KaO



自転車通勤への障壁② 駐輪場

自然と調和する
こころ豊かな毎日をめざして

KAO



① 自転車通勤者用駐輪場



② 自転車通勤者 & 健康づくり通勤者用駐輪場



③ 健康づくり通勤者用駐輪場

① 自転車が許容量オーバー

② 許容量オーバー & 社外の人が入ってこれる

③ 屋根もなく、社外の人が入ってこれる、駐車場の端で正門で距離が遠い

今後のターゲット層

自然と調和する
 ところ豊かな毎日をめざして

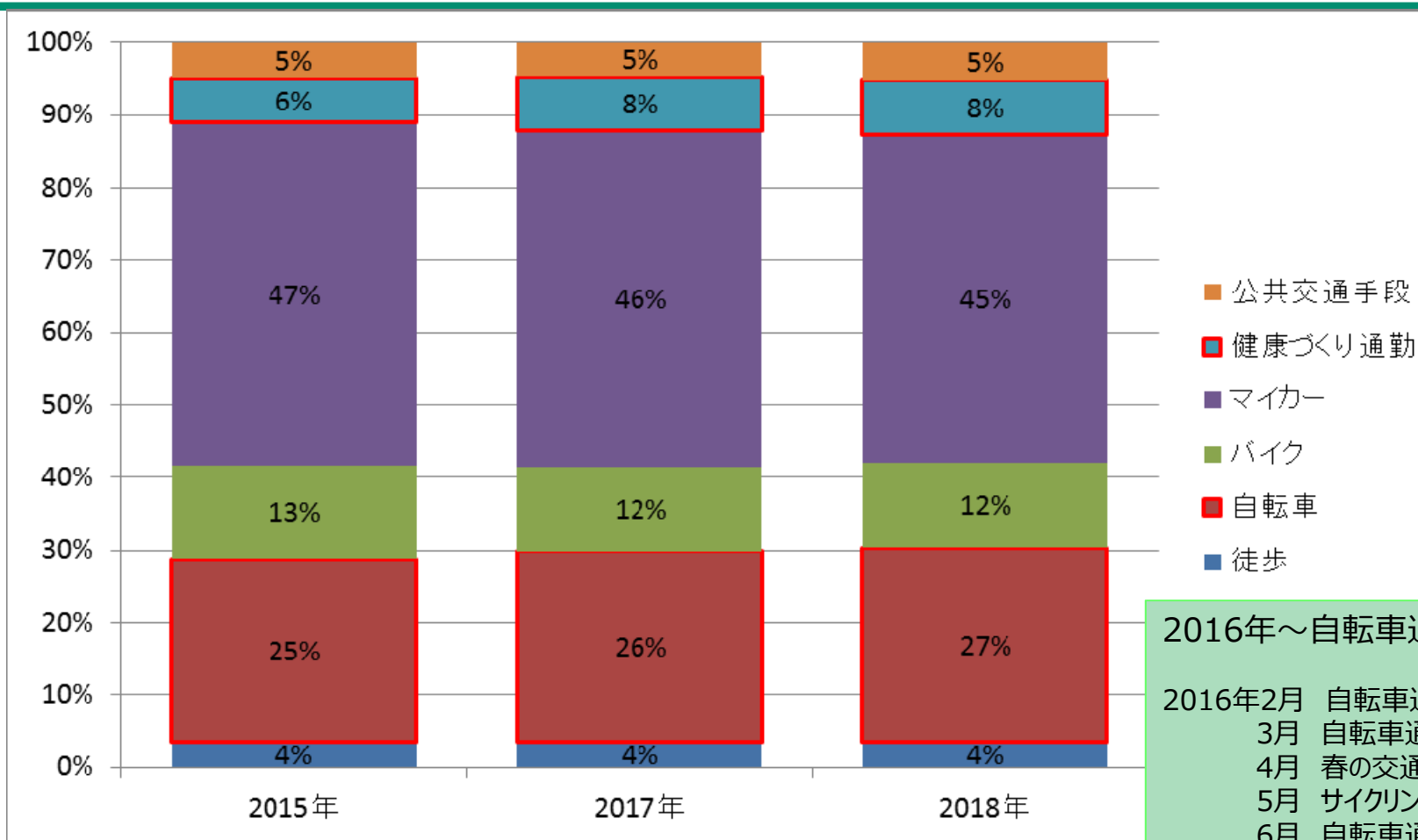


	3.0以下	5.0以下	5.1-10.0	10.1-15.0	15.1-	総計
徒歩	71		0			71
	100%	0%	0%	0%	0%	
自転車	403	71	38	3	4	519
	78%	14%	7%	1%	1%	
バイク	82	49	79	7	10	227
	36%	22%	35%	3%	4%	
マイカー	26	98	434	108	213	879
	3%	11%	49%	12%	24%	
健康づくり通勤	8	29	86	14	9	146
	5%	20%	59%	10%	6%	
公共交通手段	75	9	10	1	5	100
	75%	9%	10%	1%	5%	

工場から遠い場合、自転車通勤への抵抗感が強く出てしまう。
 まずは、5 km程度の近い距離層をターゲットに「健康づくり通勤」「自転車通勤」をすすめる！

通勤種別割合の年次推移

自然と調和する
 ところ豊かな毎日をめざして



2016年～自転車通勤率増加への取組内容

- 2016年2月 自転車通勤プログラム1期説明会
- 3月 自転車通勤プログラム1期スタート
- 4月 春の交通安全運動「自転車の安全講習」
- 5月 サイクリングイベント
- 6月 自転車通勤1期終了
- 8月 自転車通勤プログラム2期説明会
- 9月 自転車通勤プログラム2期スタート
- 11月 サイクリングイベント
- 12月 自転車通勤2期終了
- 2017年9月 自転車通勤でマインドスイッチ
- 11月 サイクリングイベント
- 2018年3月 自転車通勤でマインドスイッチ
- 4月 サイクリングイベント

2020年目標値
健康づくり通勤率：10%
自転車通勤率：27%

“いっしょにeco”を知って、体験していただくための施設、
「花王エコラボミュージアム」。



展示や映像、体験プログラムなどを通じて、子どもから大人まで楽しくエコを学べます。





自然と調和する こころ豊かな毎日をめざして

ご清聴ありがとうございました